

2022年度 つむぎ 池尻ルーム 職員アンケート改善策報告

いつもつむぎをご利用いただき、ありがとうございます。職員アンケートの結果および改善策の報告をいたします。

今後も支援の質向上に努めてまいりますので、お気づきの点などございましたら、施設長またはスタッフにお気軽にお知らせください。

	質問内容	平均スコア	改善策・ご意見への対応について	
体制設備・環境について	Q2	入口や支援室、カフェ、トイレなど、ルーム内は清潔、整理整頓され、子どもが活動するに当たり安全な環境であるか。	3.9	日々の清掃を怠らず、整理整頓に心がけ、お子さまの安全に配慮された環境であるように努めてまいります。今年度はワックスの変更により床の状態も改善していきたいと思っております。
	Q3	職員の配置数、職員の専門性は適切であるか。	3.4	今後も適正にスタッフの配置ができるように努めてまいります。また、専門性につきましては、ルーム内研修の充実を図ったり、法人内や外部での研修に参加しやすい環境づくりを目指します。
	Q4	業務中の休憩および休暇は適切に取れているか。	4.3	十分な休憩や休暇が取りやすい体制を作りながら、急なスタッフの欠勤などに対しても全員でフォローできるように努めてまいります。
	Q5	ルーム内の環境や支援員の人員体制について、ご意見をお聞かせください。		引き続き、適切な環境設定、人員配置を遵守して運営してまいります。
業務改善について	Q6	業務改善を進めるためのPDCAサイクルに、広く職員が参加しているか。	3.6	全スタッフが業務改善の為にPDCAサイクルに参加できるよう、園会議での意見交換やスタッフとの面談を実施しながら、定期的なチェックができる仕組みづくりに努めてまいります。
	Q7	保護者にアンケート調査等を行い、保護者の意向や意見を把握し、業務改善につなげているか。	4.1	今期も多くのご意見をいただきありがとうございました。アンケートでいただいたご意見は全員で共有し、その対策を考え実行しながら業務改善に努めてまいります。
	Q8	この自己評価表の結果を事業所内掲示やホームページなどで公開しているか。	4.1	アンケート結果は、園内の掲示板に結果を公表し、ホームページにも掲載しております。
	Q9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4.1	内部監査を年に2回実施しており、法人のガイドラインに則った正しい運営を心掛けております。また、世田谷区による実地指導があり、指摘事項につきましては、共有して業務改善に繋げております。
	Q10	職員の資質、療育スキル向上のため研修の機会を確保しているか。	3.6	法人内のスキルアップ講座や課ごとの勉強会に参加しております。引き続き、スタッフのスキル向上を目指してまいります。
	Q11	業務改善について、ご意見をお聞かせください。		意見の出しやすい環境づくりを心掛け、必要な場合には都度、業務改善してまいります。
適切な支援の提供について	Q12	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか。	3.3	共通のアセスメントシートにてお子さまの様子を見立てております。
	Q13	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で個別支援計画を作成しているか。	3.9	引き続き、丁寧な保護者様からの聞き取り、子どもの行動観察の時間を設け、その結果をもとに児童発達管理責任者とスタッフで会議を行うことで、お子さま一人一人に合った個別支援計画づくりに尽力いたします。
	Q14	グループ活動や個別支援のプログラムは、支援目標に沿ったものになっているか。	4.1	プログラムを立てる前には常に支援計画に目を通すことを心がけております。活動自体は手段であり、何をやっていても常にねらいや目的が意識できるよう努めております。
	Q15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4.0	お子さまの興味関心や発達を的確に捉えて活動を決めるよう、心がけています。また、自然との関りやホンモノの体験ができるようなプログラムを設定しております。
	Q16	プログラム開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる内容や役割分担について確認しているか。	4.3	各グループのリーダーが事前にその日の活動のねらいやスタッフの動きなどを確認する時間を設けております。
	Q17	支援終了後には、職員間で必ず支援の振り返りを行い、気づいた点などを共有しているか。	3.4	打ち合わせ同様に、一日の流れの中に振り返りの時間を確保し、共有できるように努めております。その日のうちに振り返りができなかった際には、近日中にその時間が取れるよう心がけています。
	Q18	日々の支援内容を正しく記録し、支援の検証・改善につなげているか。	3.7	自分の支援の記録としてだけでなく、誰が見ても分かる記録作りを心掛けております。引き続き、スタッフ全体でより良い記録、検証、改善に繋がれるように努めてまいります。
	Q19	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断し、適用期間内に次期個別支援計画の説明ができていますか。	4.3	半期に1度の定期的なモニタリングと策定会議を実施し、支援計画の見直しをしております。保護者の方にはしっかりと伝わるような説明を心掛けております。
	Q20	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか。(自立支援と日常生活の充実のための活動、創作活動、地域交流の機会の提供、余暇の提供など)	3.7	お子さまの発達をしっかりと見極めながら、多角的なアプローチに努めております。商店街ツアーなど継続的な地域交流の機会がもてるようにしていきたいと思っております。
	Q21	適切な支援の提供について、ご意見をお聞かせください。		スタッフの支援の方針に法人理念と相違があるというご意見をいただきました。今後は、園会議を利用して意見交換をするなど、スタッフ同士で対応について検討できるような機会を設けてまいります。
	保護者と関係機関について	Q22	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	3.7
Q23		所属の幼稚園や保育園等と連携し、相互理解や支援のアドバイス等に努めているか。	3.7	「関係機関連携」の制度を利用して、所属の園に訪問させていただいております。つむぎから園訪問をご提案させていただくこともありますが、保護者様からのご要望も承っております。
Q24		児童発達支援事業所同士で連携をとり、情報共有、相互理解に努めているか。	3.7	相談支援事業所との定期的なモニタリングを実施して、お子さま情報共有を行っております。今後はつむぎから連携をご提案するような機会も設けていければと思っております。
Q25		児童発達支援事業所から放課後等デイサービス事業所へ移行する場合、それまでの支援内容などの情報を提供するなどしているか。	3.7	就学に向けて必要な情報は「就学支援シート」で共有させていただいております。

保護者と関係機関について	Q26	児童発達支援センターや発達障害者支援センターなどの専門機関と連携し、助言や研修を受けているか。	2.4	今後は、広く研修の案内をしながら、学びの機会を提供できるよう心がけてまいります。
	Q27	地域自立支援協議会や社会福祉協議会など、地域連携を図るような会議に積極的に参加しているか。	2.3	各協議会に参加し、意見交換をさせていただいております。会議の情報はしっかりとスタッフに共有しております。今後は、スタッフ自身が会議に直接参加ができるようにしてまいります。
	Q28	障害のない子どもと活動する機会を設けているか。	2.4	戸外活動で公園に行った際には、地域の子どもたちと交流ができるように努めております。引き続き、つむぎ以外の子どもたちとも活動ができる機会を提供できるよう努めていきたいと思っております。
	Q29	事業所の行事に地域住民を招待するなど、地域に開かれた事業運営を行っているか。	1.9	今後は、体験学習に地域の方を招待するなど積極的に地域の方との交流を図る運営をしていけるよう努めてまいります。
	Q30	保護者の子どもへの理解力・対応力の向上を図る観点から、保護者の状況に合わせた適切な支援を行っているか。	3.6	保護者様との対話を大切にしております。引き続き、お子さまへの接し方や、対応の仕方について個別にご相談に乗りながら、保護者様の不安や困りごとに寄り添っていけるよう尽力いたします。
	Q31	関係機関や保護者との連携について、ご意見をお聞かせください。		今後も関係機関や保護者様と連携をしながら、お子さまに合った支援が提供できるようにしていきたいと思っております。
保護者やお子さまへの対応などについて	Q32	契約、支援の内容、利用者負担などについて丁寧な説明を行っているか。	4.3	契約時には保護者様に不安がないよう、丁寧な説明を心がけております。不安や疑問点がある際には、気軽にお声がけいただきたいと思っております。
	Q33	保護者からの子育ての悩みなどに対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	3.9	支援以外の時間も使いながら、保護者様の思いに寄り添えるように努めております。
	Q34	保護者同士が集まれる場の提供など、保護者同士の連携につながる支援を行っているか。	3.1	今後は保護者様のニーズを聞きながら、座談会や勉強会などの開催を企画していこうと思っております。
	Q35	子どもや保護者からの苦情があった場合、迅速かつ適切に対応しているか。	4.0	毎年、アンケートで貴重な意見を頂きありがとうございます。引き続き、小さなご意見も見逃さず、情報を共有しながら、迅速な対応ができるよう努めてまいります。
	Q36	掲示物やホームページなどで、活動内容やイベント開催告知など、子どもや保護者に対して情報を発信できているか。	3.9	カフェスペースのホワイトボードにはつむぎでのイベントを掲示しております。今後は、体験学習や座談会などのご案内をできる限り早くお知らせできるように努めてまいります。
	Q37	障害のある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか。(例:分かりやすい言葉がけをしているか、専門用語を使い過ぎていないかなど)	4.0	引き続き、専門用語は使わずわかりやすい言葉を使用し丁寧な説明を心がけ、保護者様のご相談や疑問にお答えできるよう努めてまいります。
	Q38	個人情報の取扱に十分注意しているか。	4.3	個人情報の取り扱いには、最新の注意を払っております。個人が特定される情報は鍵のかかる書庫で管理し、廃棄する際も厳重に管理しております。
	Q39	職員同士の連携や情報共有は適切に行われているか。	4.1	朝礼、夕礼での共有のほか、日報や連絡ノートなどを活用して共有しております。
	Q40	保護者や子どもへの対応などについて、ご意見をお聞かせください。		日ごろからスタッフ同士で円滑なコミュニケーションをとり、ルーム全体でよりよい支援が提供できるように努めてまいります。
	非常時の対応について	Q41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを、把握できているか。	3.9
Q42		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練を行っているか。	4.3	避難訓練を毎月実施しております。併せて、不審者侵入対応訓練や通報訓練などを行い、非常時に対応できるように取り組んでまいります。
Q43		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保するなど、適切な対応をしているか。	3.4	行政が実施している虐待の研修に参加するようしております。今後は、自分の言動を振り返る機会を設けたり、スタッフ同士でチェックしあえるような環境を作り、虐待防止に努めてまいります。
Q44		ヒヤリハット事例集を作成して、事業所内で共有しているか。	4.4	毎日の夕礼で、その日のヒヤリハットやインシデントを検証しております。引き続き事故防止のために、対策を考えてまいります。
Q45		非常時の対応について、ご意見をお聞かせください。		
満足度について	Q46	子どもはつむぎに楽しく通っていると思うか。	4.0	お子さまが、意欲的にやりたいことを選んでやれているとお声をいただいております。引き続き、つむぎに来ることを楽しみにできるような活動を用意してまいります。
	Q47	つむぎの支援を通じて、子どもの変化や成長を実感することがあるか。	3.7	引き続き、保護者様と子どもの成長をわかちあい、お子さまや保護者様に寄り添った支援ができるよう努めてまいります。
	Q48	設問事項に関わらず、ご意見・改善点などなんでもお聞かせください。		今後もつむぎの支援をより良いものにするために、ご意見を頂戴できると幸いです。お忙しい中、貴重なご意見ありがとうございました。

アンケート実施期間:2022年8月12日~9月5日
全回答数 : 7

つむぎ 池尻ルーム
施設長 外山 ちひろ